



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財経本部長 (氏名) 村田 良伸 TEL 03-3438-2291
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	157,380	11.7	9,264	22.5	12,277	13.6	6,796	19.0
2022年3月期	140,842	7.9	7,560	30.3	10,811	28.0	5,713	42.5

(注) 包括利益 2023年3月期 15,738百万円 (10.4%) 2022年3月期 14,255百万円 (3.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	139.82	—	6.8	6.6	5.9
2022年3月期	116.34	—	6.4	6.0	5.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 1,881百万円 2022年3月期 1,475百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	193,232	112,930	54.0	2,169.53
2022年3月期	180,955	103,094	52.1	1,920.35

(参考) 自己資本 2023年3月期 104,419百万円 2022年3月期 94,333百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	12,323	△8,054	△3,168	29,271
2022年3月期	12,238	△6,845	△11,554	27,001

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	2,456	43.0	2.7
2023年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00	3,467	50.1	3.4
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		44.8	

(注) 2023年3月期における1株当たり期末配当金につきましては、25円から45円に変更しております。詳細については、本日(2023年5月10日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,200	7.8	3,300	△12.3	4,600	△26.7	2,800	△20.9	59.02
通期	168,000	6.7	9,500	2.5	12,400	1.0	7,300	7.4	156.15

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	49,757,821株	2022年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2023年3月期	1,627,625株	2022年3月期	634,564株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	48,611,504株	2022年3月期	49,113,574株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	94,158	6.9	746	—	10,623	110.8	9,716	164.8
2022年3月期	88,092	5.7	△1,125	—	5,039	0.2	3,669	△15.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	199.87	—
2022年3月期	74.72	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	140,583	67,801	48.2	1,408.71
2022年3月期	131,580	61,646	46.9	1,254.94

(参考) 自己資本 2023年3月期 67,801百万円 2022年3月期 61,646百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.2「1.経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経済環境は、新型コロナウイルス感染症再拡大による影響が見られたものの、経済活動の正常化が進んだことで緩やかな回復基調となりました。一方、半導体等産業用資材の不足によるサプライチェーンの混乱、ロシア・ウクライナ紛争の長期化に伴うエネルギー資源の高騰、欧米を中心としたインフレ圧力とそれに伴う金融引き締め政策などが景気の減退要因となり、先行き不透明な状況が継続しております。

このような事業環境のもと、当社事業においては、部品調達難の影響を大きく受けた自動車・建設機械業界向け事業を除き堅調に推移し、増収増益となりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は1,573億80百万円（前期比11.7%増）、営業利益は92億64百万円（前期比22.5%増）、経常利益は122億77百万円（前期比13.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は67億96百万円（前期比19.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、世界的な半導体不足の影響を受ける一方、円安による押し上げ効果により、当セグメントの売上高は849億49百万円（前期比4.1%増）となりましたが、原材料価格の高騰、電力料の値上げなどにより収益性が悪化し、営業利益は3億79百万円（前期比81.3%減）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、海外における顧客操業の回復により、当セグメントの売上高は337億61百万円（前期比16.7%増）、営業利益は36億19百万円（前期比47.7%増）となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、メモリを中心に半導体業界減速による投資延期等の影響を受ける一方、新規拡販により、当セグメントの売上高は167億2百万円（前期比37.0%増）、営業利益は18億42百万円（前期比174.3%増）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、新造船市況の好調継続と欧州での修繕部品需要が増加したことにより、当セグメントの売上高は135億53百万円（前期比16.2%増）、営業利益は33億26百万円（前期比39.6%増）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、主に航空機向けの販売増により、当セグメントの売上高は84億13百万円（前期比30.2%増）、営業利益は91百万円（前期比481.8%増）となりました。

② 次期の見通し

自動車向け半導体の供給不足の継続、ロシア・ウクライナ紛争等地政学リスクの高まりが原材料価格やエネルギー資源の高騰に拍車をかけることも懸念されますが、経済環境は回復基調にあり、売上・営業利益ともに当期を上回る見込みであります。

セグメントごとの見通しは以下のとおりであります。

自動車・建設機械業界向け事業は、中国市場での自動車生産の回復とEV向け製品の販売増を見込んでおります。

一般産業機械業界向け事業は、インド・アジアパシフィック・日本ともに引き続き良好な需要に支えられ販売増を見込んでおります。

半導体業界向け事業は、メモリを中心に一時的な需要減速が見込まれますが、新規拡販による販売増を見込んでおります。

船用業界向け事業は、新造船市況の好調継続が見込まれる一方、修繕部品の需要減に伴い、販売減となる見通しです。

航空宇宙業界向け事業は、中・小型民間航空機の需要増などがある一方、衛星向け製品減により販売減となる見通しです。

次期の連結業績予想としましては、売上高1,680億円（前期比6.7%増）、営業利益95億円（前期比2.5%増）、経常利益124億円（前期比1.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益73億円（前期比7.4%増）を見込んでおります。

(2) 財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末における資産は1,932億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ122億77百万円増加しました。これは主に棚卸資産が53億10百万円、売掛金が27億28百万円、投資有価証券が19億48百万円増加したことによ

るものであります。

負債は803億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億41百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が22億92百万円減少した一方、借入金が33億77百万円、買掛金が4億74百万円、未払法人税等が3億20百万円増加したことによるものであります。

純資産は1,129億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億35百万円増加しました。これは主に剰余金の配当により24億56百万円減少した一方、親会社株主に帰属する当期純利益を67億96百万円計上したほか、為替換算調整勘定が43億59百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は292億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億69百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は123億23百万円（前期比0.7%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益122億18百万円、減価償却費99億27百万円を計上した一方、棚卸資産が47億15百万円増加したことに加え、法人税等の支払いにより34億33百万円支出したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は80億54百万円（前期比17.7%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得により84億39百万円支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は31億68百万円（前期比72.6%減）となりました。これは主に長期借入れにより149億50百万円獲得した一方、長期借入金の返済により113億70百万円、配当金の支払（非支配株主への支払いを含む）により47億54百万円、自己株式の取得により18億87百万円支出したことによるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率（%）	47.4	44.9	47.8	52.1	54.0
時価ベースの 自己資本比率（%）	34.4	20.0	33.1	26.5	29.6
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率（年）	2.9	2.6	2.4	3.0	3.2
インタレスト・カバレッジ・ レシオ（倍）	36.2	38.6	43.7	31.3	32.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利息支払額

（注）1. いずれの指標も連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、現在は、日本基準で連結財務諸表を作成しておりますが、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,806	30,581
受取手形	1,958	1,565
売掛金	28,248	30,977
電子記録債権	5,248	5,073
商品及び製品	10,169	11,606
仕掛品	6,910	8,298
原材料及び貯蔵品	10,477	12,961
未収入金	3,048	3,745
その他	3,552	3,008
貸倒引当金	△96	△105
流動資産合計	98,323	107,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,130	50,717
減価償却累計額	△23,597	△25,702
建物及び構築物 (純額)	22,532	25,015
機械装置及び運搬具	84,192	88,676
減価償却累計額	△62,219	△67,354
機械装置及び運搬具 (純額)	21,972	21,322
工具、器具及び備品	16,437	17,462
減価償却累計額	△12,840	△13,918
工具、器具及び備品 (純額)	3,597	3,543
土地	6,345	6,522
リース資産	3,065	3,201
減価償却累計額	△1,371	△1,598
リース資産 (純額)	1,694	1,603
建設仮勘定	2,896	2,871
有形固定資産合計	59,039	60,879
無形固定資産		
のれん	1,266	829
その他	1,842	1,898
無形固定資産合計	3,108	2,727
投資その他の資産		
投資有価証券	12,785	14,733
長期貸付金	534	475
繰延税金資産	5,750	5,294
その他	1,521	1,518
貸倒引当金	△108	△109
投資その他の資産合計	20,483	21,913
固定資産合計	82,631	85,519
資産合計	180,955	193,232

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,180	9,655
電子記録債務	2,512	2,590
短期借入金	2,353	2,148
1年内返済予定の長期借入金	10,668	11,475
未払金	2,715	3,063
リース債務	526	484
未払法人税等	1,534	1,855
契約負債	959	595
従業員預り金	4,208	4,230
賞与引当金	2,679	2,818
受注損失引当金	758	646
その他の引当金	12	9
その他	4,576	4,884
流動負債合計	42,686	44,457
固定負債		
長期借入金	17,732	20,508
リース債務	855	850
退職給付に係る負債	15,412	13,120
環境対策引当金	300	300
負ののれん	61	45
その他	811	1,019
固定負債合計	35,174	35,844
負債合計	77,860	80,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,296	11,819
利益剰余金	71,483	75,824
自己株式	△213	△1,884
株主資本合計	93,057	96,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	518
為替換算調整勘定	2,950	7,310
退職給付に係る調整累計額	△2,133	340
その他の包括利益累計額合計	1,275	8,170
非支配株主持分	8,761	8,510
純資産合計	103,094	112,930
負債純資産合計	180,955	193,232

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	140,842	157,380
売上原価	108,688	119,893
売上総利益	32,154	37,487
販売費及び一般管理費	24,593	28,222
営業利益	7,560	9,264
営業外収益		
受取利息	215	364
受取配当金	28	33
持分法による投資利益	1,475	1,881
為替差益	1,105	1,062
受取賃貸料	90	120
その他	825	829
営業外収益合計	3,741	4,293
営業外費用		
支払利息	385	415
製品補償費	—	796
その他	105	68
営業外費用合計	490	1,280
経常利益	10,811	12,277
特別利益		
固定資産売却益	12	42
投資有価証券売却益	11	173
特別利益合計	23	216
特別損失		
固定資産売却損	18	10
固定資産除却損	86	101
減損損失	1,379	163
特別損失合計	1,485	275
税金等調整前当期純利益	9,349	12,218
法人税、住民税及び事業税	2,956	3,710
法人税等調整額	△736	△142
法人税等合計	2,220	3,567
当期純利益	7,129	8,650
非支配株主に帰属する当期純利益	1,415	1,853
親会社株主に帰属する当期純利益	5,713	6,796

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	7,129	8,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	87
為替換算調整勘定	5,020	3,497
退職給付に係る調整額	969	2,030
持分法適用会社に対する持分相当額	1,079	1,471
その他の包括利益合計	7,125	7,087
包括利益	14,255	15,738
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,394	13,690
非支配株主に係る包括利益	1,860	2,047

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,490	11,310	68,224	△226	89,799
当期変動額					
剰余金の配当			△2,455		△2,455
合併による増減		△13		13	—
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,713		5,713
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△13	3,258	12	3,258
当期末残高	10,490	11,296	71,483	△213	93,057

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	402	△2,690	△3,116	△5,404	8,046	92,441
当期変動額						
剰余金の配当						△2,455
合併による増減						—
親会社株主に帰属する 当期純利益						5,713
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	56	5,641	982	6,680	714	7,395
当期変動額合計	56	5,641	982	6,680	714	10,653
当期末残高	458	2,950	△2,133	1,275	8,761	103,094

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,490	11,296	71,483	△213	93,057
当期変動額					
剰余金の配当			△2,456		△2,456
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,796		6,796
自己株式の取得				△1,887	△1,887
自己株式の処分		522		216	739
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	522	4,340	△1,671	3,192
当期末残高	10,490	11,819	75,824	△1,884	96,249

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	458	2,950	△2,133	1,275	8,761	103,094
当期変動額						
剰余金の配当						△2,456
親会社株主に帰属する 当期純利益						6,796
自己株式の取得						△1,887
自己株式の処分						739
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	60	4,359	2,474	6,894	△250	6,643
当期変動額合計	60	4,359	2,474	6,894	△250	9,835
当期末残高	518	7,310	340	8,170	8,510	112,930

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,349	12,218
減価償却費	9,698	9,927
減損損失	1,379	163
持分法による投資損益 (△は益)	△1,475	△1,881
のれん償却額	423	424
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△254	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	99	125
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△86	△174
受取利息及び受取配当金	△243	△398
支払利息	385	415
有形固定資産除売却損益 (△は益)	93	68
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11	△173
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,213	△1,285
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,584	△4,715
その他の資産の増減額 (△は増加)	55	220
仕入債務の増減額 (△は減少)	△384	△48
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	244	△112
その他の負債の増減額 (△は減少)	△58	△632
その他	△89	100
小計	13,326	14,247
利息及び配当金の受取額	2,229	1,890
利息の支払額	△390	△382
法人税等の支払額	△2,927	△3,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,238	12,323
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,639	△8,439
有形固定資産の売却による収入	204	217
無形固定資産の取得による支出	△828	△738
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の売却による収入	20	272
定期預金の預入による支出	△592	△21
定期預金の払戻による収入	1	613
その他	△3	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,845	△8,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,871	8,424
短期借入金の返済による支出	△5,996	△8,623
長期借入れによる収入	5,000	14,950
長期借入金の返済による支出	△12,404	△11,370
自己株式の売却による収入	—	739
自己株式の取得による支出	△0	△1,887
配当金の支払額	△2,455	△2,456
非支配株主への配当金の支払額	△1,145	△2,298
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△422	△647
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,554	△3,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,617	1,169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,543	2,269
現金及び現金同等物の期首残高	31,545	27,001
現金及び現金同等物の期末残高	27,001	29,271

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位で分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では製品が使用される業界別に事業分野を設定し、「自動車・建設機械業界向け事業」、「一般産業機械業界向け事業」、「半導体業界向け事業」、「船用業界向け事業」、「航空宇宙業界向け事業」の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整又 は全社	連結財務諸 表計上額
売上高								
外部顧客への売上高	81,588	28,935	12,190	11,667	6,460	140,842	—	140,842
セグメント間の内部売上高 又は振替高	126	117	—	5	—	249	△249	—
計	81,715	29,053	12,190	11,672	6,460	141,092	△249	140,842
セグメント利益	2,027	2,450	671	2,382	15	7,548	11	7,560
セグメント資産	91,840	43,445	9,075	12,675	10,833	167,870	13,084	180,955
その他の項目								
減価償却費	6,272	1,901	534	525	252	9,485	212	9,698
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	3,692	1,458	1,150	86	229	6,618	558	7,176

報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

- (1) セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- (3) セグメント資産のうち、調整又は全社の項目に含めた全社資産の金額は196億34百万円であり、その主なものは、当社の現金及び預金、受取手形、ソフトウェア及び繰延税金資産であります。
- (4) その他の項目の減価償却費と有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち、調整又は全社の項目に含めた全社の金額は、主に当社のソフトウェアであります。

Ⅱ 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整又 は全社	連結財務諸 表計上額
売上高								
外部顧客への売上高	84,949	33,761	16,702	13,553	8,413	157,380	—	157,380
セグメント間の内部売上高 又は振替高	164	136	—	5	—	305	△305	—
計	85,114	33,898	16,702	13,558	8,413	157,686	△305	157,380
セグメント利益	379	3,619	1,842	3,326	91	9,260	4	9,264
セグメント資産	93,683	45,594	13,778	12,034	11,051	176,142	17,090	193,232
その他の項目								
減価償却費	6,429	1,924	643	482	231	9,712	215	9,927
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	4,778	1,553	3,007	258	171	9,769	430	10,200

報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

- (1) セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- (3) セグメント資産のうち、調整又は全社の項目に含めた全社資産の金額は224億87百万円であり、その主なものは、当社の現金及び預金、未収入金、ソフトウェア及び繰延税金資産であります。
- (4) その他の項目の減価償却費と有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち、調整又は全社の項目に含めた全社の金額は、主に当社のソフトウェアであります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,920.35円	1株当たり純資産額	2,169.53円
1株当たり当期純利益	116.34円	1株当たり当期純利益	139.82円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,713	6,796
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,713	6,796
期中平均株式数 (株)	49,113,574	48,611,504

(重要な後発事象)

該当事項はありません。